

土木学会 原子力土木委員会 リスクコミュニケーション小委員会（第2期）
第5回小委員会 議事録

1. 日時：2025年8月20日（水）10:30-12:00
2. 場所：Zoomによるオンライン会議
3. 出席者：奈良委員長、内山委員、桑垣委員、中村委員、松村幹事長、姥沢常時参加者、小長井常時参加者、武田常時参加者
4. 資料
特になし

5. 議事要旨

第2期の3年目に入り、今回的小委員会では、あらためて、これまでの活動内容を振り返りつつ、今後の活動の方向性について議論した。また、後半30分間は、地下空間研究委員会の坂井氏（維持管理小委員会委員長）と原子力土木委員会の富尾幹事が参加し、第8分野における連携についても意見交換を行った。

今後の活動の方向性については、そろそろ原子力土木委員会としてのリスクコミュニケーションの実践のフェーズに移行する段階ではないか、自然科学の専門家が主体となってリスクコミュニケーションを行い、人文社会学の専門家はサポートをする、そのような方向にしていくこうという提案があり、この方向で体制の見直しも含めて検討をしていくこととなった。体制の見直しのなかには、技術の専門家の方々に新たに小委員会に加わっていただくという案も出され、実践に関しては中堅・若手の支援などの課題もあるとの意見があった。

第8分野における連携については、維持管理小委員会と当小委員会の活動概要を共有した上で、対象が異なるため当小委員会の成果を維持管理小委員会でそのまま活用することは難しいが、地下災害に詳しいリスクコミュニケーションの専門家を紹介することは可能であり、維持管理小委員会に参加してサポートしてもらうのがよいのではないかなどの意見があった。

6. 今後の予定

これまでの調査結果を整理・検討しつつ、体制・実施内容の具体について検討していく。
次回小委員会を今年度中に予定する。

以上